

日中対照言語学会第40回大会（2018年度冬季大会）のご案内

記

日時：2018年12月23日（日）9:20～17:35分まで

会場：大阪産業大学梅田サテライト（JR大阪駅南口下車、阪神百貨店右の通りを直進、徒歩約5分、大阪駅前第三ビル19階。大阪市北区梅田1-1-3。電話06-6442-5522）

参加費：1,000円（会員、非会員共通）

プログラム

- 受付（8:50～） 総合司会 丸尾 誠（名古屋大学）
- 大会開催校挨拶** 張 黎（大阪産業大学） 9:20～9:25
- 開会の辞** 彭 飛（京都外国語大学） 9:25～9:30
- 研究発表1. 台湾華語における“用”に関する一考察 9:30～10:00
王 天保（淡江大学）
- 研究発表2. 『日中対照表現論』三部作とその連続性・関連性について 10:00～10:30
藤田 昌志（三重大学） 以上司会 安本 真弓（跡見女子学園大学）
- 休憩（10分間）** 10:30～10:40
- 研究発表3. 改善要求行為における意味公式の使用についての日中対照 10:40～11:10
孫 爽（岡山大学大学院）
- 研究発表4. 逆接表現による言いさし文の日中対照研究 11:10～11:40
—日本語の「けど」節と中国語の“虽然”節を例に—
桑 忠林（名古屋大学大学院）
- 研究発表5. ほのめかし表現の日中対照研究 —依頼場面を中心に— 11:40～12:10
頼 俊雯（大阪大学大学院） 以上司会 下地 早智子（神戸市外国語大学）
- 昼休み（60分間）** ビルの階下に食堂街あり） 12:10～13:10
- 講演** 日本語の文法形式とコミュニケーション 13:10～14:10
森 篤嗣（京都外国語大学） 以上司会 彭 飛（京都外国語大学）
- 研究発表6. 日中対照から見た移動動詞の意味と構文—「渡る」と“过”を中心に— 14:10～14:40
張 岩：（神戸市外国語大学）
- 研究発表7. 「手」と“手”の意味拡張に関する日中対照研究 14:40～15:10
—認知言語学のアプローチから—
李 旖旎（北京郵電大学） 以上司会 竹島 毅（大東文化大学）
- 休憩（10分間）** 15:10～15:20
- 研究発表8. 並列関係にある語・句・節の接続—接続詞“和”の誤用分析を切り口に 15:20～15:50
張 恒悦（大阪大学）
- 研究発表9. 日中両言語における接続表現の対照研究 15:50～16:20
—中国語の無標型接続表現とそれに対応する日本語を中心にして—
白 睿（広島大学大学院） 以上司会 王 学群（東洋大学）
- 休憩（10分間）** 16:20～16:30
- 研究発表10. 現代蒙古語中汉语词汇借用的特点 16:30～17:00
来 小子（関西大学大学院）
- 研究発表11. 日中翻訳—談話言語学の視点から 17:00～17:30
—『天声人語』（2018.7.11）の中国語訳について—
続 三義（東洋大学） 以上司会 余 維（関西外国語大学）
- 閉会の辞** 加藤 晴子（東京外国語大学） 17:30
- ※昼食の間、拡大常務理事会を開催予定。
- ※当日入会申し込み、学会費の納入も受け付けます。（年会費：社会人4,000円、院生2,000円）

2018 年度冬季大会
講演及び研究発表 テーマ・発表者と発表要旨

講演テーマ：日本語の文法形式とコミュニケーション

講演者：森 篤嗣（京都外国語大学）

講演要旨：

日本語の文法形式は種々多様であるが、中でも文末形式のバリエーションは幅広い。本講演では、日本語の文末における文法形式と、それが実現するコミュニケーションの実態との関係について例を挙げながら紹介していきたい。

一つ例を挙げると、「～しないでください」という文法形式がある。この文型のコミュニケーションにおける典型例は「タバコを吸わないでください」か「心配しないでください」かどちらだろうか。清ルミ（2004,2005,2006）では、禁止用法を多用する日本語教師には「日本語教科書の”刷り込み”」という影響が強いことを指摘し、日本語教師と一般社会人との「ずれ」を指摘している。一方、建石(2015)では、実は学生や一般社会人も禁止用法をよく使うということを反証し、話し言葉と書き言葉での「ずれ」を指摘している。

昨今はコーパスなどの大量データを容易に利用できるようになっており、特定の文法形式のコミュニケーションにおける使用実態を明らかにすることが可能になってきている。こうした日本語の文法形式とコミュニケーションとの関係の実態の解明は、日本語教育の改善のために必要であろう。いくつかの例を通して、文法形式とコミュニケーションの関係をみなさんと一緒に考える機会としたい。

1. テーマ：台湾華語における“用”に関する一考察

王 天保（淡江大学）144750@mail.tku.edu.tw

要旨：

中国語の“用”は名詞、動詞、介詞といった多様な意味用法がある。名詞として使われる“用”には効果、効き目を表す“効用”“作用”や、費用を意味する“家用”“費用”があり、動詞として使われる“用”には、任命の意味で使う“任用”の他に、「使う」を表す“使用”“運用”や、食事をすることを意味する“用餐”といったものがある。そして、介詞として使われる“用”には手段方法を表す「用筷子吃」というものがある。辞書で漢語及び台湾華語の“用”を調べてみると、使い方は殆ど同じであるが、台湾華語の“用”の意味用法では、「ちょっかいを出す」「処理する」「作業を行う」「用意する」「設置する」「(髪型を)整える」といった辞書にリストアップされた“用”の使い方から逸脱するものがあることに気付く。本研究は辞書の用法から逸脱する“用”の使い方について考察し、それらの意味用法及び派生理由を探る。

2. テーマ：『日中対照表現論』三部作とその連続性・関連性について

藤田 昌志(三重大学) fujita@cie.mie-u.ac.jp

要旨：

拙著(2007)『日中対照表現論—付:中国語を母語とする日本語学習者の誤用について—』白帝社刊(以下(2007)と略す。)同(2013)『日本語と中国語の誤用例研究』朋友書店刊(以下(2013)と略す。)同(2017)『日中対照表現論Ⅱ—事例研究を中心として—』朋友書店刊(以下(2017)と略す。)は日本語から中国語への方向を中心とした日中対照表現論三部作である。(2007)は「理」の面からの日中対照表現論の類型(加訳(日→中)、減訳(日→中)、転換(日→中)、意識(日→中)等)の提示、研究であり、(2017)は具体的な**事例研究**として**①表現の頻度数別ランキング②典型例(日本語表現→中国語表現)**の提示、研究を日本文学作品の中国語訳を資料に行ったものである。(2013)については、双方向から母語別誤用例を(2007)の類型を基礎として、考察、探究したものである。本発表では主として、(2007)から(2017)への研究の深化と連続性・関連性について発表を行う。具体的には

○(2007)第一章 加訳(日→中)について 五、より言語習慣上の理由が色濃い加訳(日→中)→(2017)第6章 加訳(日→中)再論—接続詞(中)・副詞(中)の加訳(日→中)について—

○(2007)第二章 減訳(日→中)について 二、とりたて詞等の減訳(日→中)—日本語表現の間接性・婉曲性との関連で—ex. など/まで/ぐらいの減訳(日→中)→(2017)第4章 とりたて詞と中国語表現

○(2007)第三章 受身文(日→中)について→(2017)第3章 受身表現について—日本語との対照から見た考察—(日本語の受身が中国語の受身になる(対応する)のは33%に過ぎないことが判明した。)

○(2007)第四章 転換(日→中)について 六、人(動作主)中心と事物中心→(2017)第7章 動作主中心表現と事物中心表現—身体部分を含む表現について—

などの研究の深化と連続性・関連性である。

3. テーマ：改善要求行為における意味公式の使用についての日中対照

孫 爽(岡山大学大学院) sunshuangali@163.com

要旨：

本発表では、従来指摘された「改善要求行為」について、話者が自分のため、聴者の行為を改善させようとする行為であると再定義する。「改善要求行為」の背後にある因果連鎖(李 2015)、会話両方のやりとり(崔 2009)、使用される一般的なストラテジー(初鹿野他 1996)等は先行研究で明らかにされているが、性差の観点からの考察は不十分である。本発表では、話者の母語と性別に注目し、対応分析の統計手段を使用しつつ、「改善要求行為」における意味公式(発話行為具現化のための最小機能単位(藤森 1995))について考察

を行った。具体的には、主に日中両言語を対象に、話者における意味公式の使用傾向と改善要求を明示する際に用いられる言語形式の二つの問題を中心に分析した。本発表では以下の結論を主張する。

1) 意味公式の使用では母語の影響が顕著であり、改善要求を明示する際の言語形式では、性差の影響が顕著である。

2) 話者の属性を問わず、改善要求明示と理由説明の意味公式が不可欠である。また、中国人男性は友好の表明、日本人男性は状態描写の表現を多用する。さらに、理由付けの詫び方は日本人女性の発話の特徴である。

3) 改善要求を明示する際、話者の属性を問わず依頼文が頻繁に使用される。また、女性は許可要求、男性は命令文を多用する傾向がある。

4. テーマ：逆接表現による言いさし文の日中対照研究—日本語の「けど」節と中国語の“虽然”節を例に—

桑 忠林 (名古屋大学大学院) sangzhonglin323@gmail.com

要旨:

言いさし文とは、接続助詞によって形成されており形式が不完全であるにもかかわらず、その意味が完全であるものを指す。白川(2009)は日本語の言いさし文を言い残しと言い終わりに分類し、更に言い終わりを関係づけと言い尽くしに分類した。一方、中国語の言いさし文に関する研究はあまり見られず、その成立のメカニズムについての研究も少ない。本発表では日本語の「けど」節と中国語の“虽然”節を例に、日中言いさし文の種類の違いを解明したうえで、言いさし文の成立原理を究明した。

日中言いさし文の各種類の有無を調べることによって、表のような一致および相違が見られた。

		日本語	中国語
言い残し		○	○
言い終わり	関係づけ	○	○
	言い尽くし	○	×

言いさし文が成立するのは会話の推意が働いているからであると考えられる。会話の推意は「一般化された会話の推意」(GCI)と「特定の会話の推意」(PCI)に分けられる。言いさし文によるGCIは意味が抽象的であるため、文内要素や先行文脈の情報と結合し、PCIに転換されるのが一般的である。「けど」節と“虽然”節のGCIはある文内要素、または先行文脈にある関連情報と結合し、PCIを形成することによって、その節に完全な意味を与え、言いさし文を形成すると考えられる。

5. テーマ：ほのめかし表現の日中対照研究 —依頼場面を中心に—

頼 俊雯(大阪大学大学院) raiseibunn0819@yahoo.co.jp

要旨：

日本語母語話者は依頼をする際に、直接的な言葉を用いて相手に要求を伝えるのではなく、ほのめかしによって相手に要求を察してもらおうという方法をとる場合がある。例えば、部屋が暑くて窓を開けてほしいと思っている人が「暑いね」とだけ言って周囲に反応を求めている場合、その発話はほのめかし表現である（滝浦 2008：42）。先行研究では、どのような言語的手段によってほのめかし表現が成立しているのかについて触れているものはあるが、日本人がどのようにしてほのめかし表現から依頼等の意図を復元するのかはまだ解明されていない。本発表では、発話された表現を聞き手はどのようにしてほのめかしであると推測し、どのようにして隠れた依頼の意図を読み取るのかについて解明を試みる。同時に、日中対照の観点から、日本語母語話者、中国人日本語学習者、中国人日本語未習者との間で、日本語のほのめかし表現に対する理解と使用にどのような相違点と類似点があるのかを考察し、日本人の多くがほのめかし表現がもつ依頼の含意を適切に読み取ることができるのに対し、中国人の多くは、日本語学習者であっても、それができないことを明らかにする。そして、中国人日本語学習者が日本語母語話者と適切にコミュニケーションをとるために、ほのめかし表現の研究が日本語教育においても重要な課題になることを指摘する。

6. テーマ：日中対照から見た移動動詞の意味と構文—「渡る」と“过”を中心に—

張 岩：(神戸市外国語大学) clofzy.kobe@gmail.com

要旨：

本研究では中間経路関係を示す日本語動詞の「渡る」と中国語動詞の“过”を取り上げ、移動事象を表現する場合の、動詞の意味構造とそれと対応する構文との関係を明らかにしたい。下の例を参照されたい。

(1C) 小李从桥上过去了。(前置詞構文)

(1J)*李さんは橋の上から渡った。(前置詞構文)

(2C) 小李过桥了。(对格構文)

(2J) 李さんは橋を渡った。(对格構文)

以上のように、中国語では(1C)の前置詞構文と(2C)の対格構文が両方適格である。一方、同じ場面を描く日本語では、(2J)の対格構文しか表現できない。本研究では以上のような構文パターンの対立を手掛りにし、日中両言語における対立の原因を探りたい。結論から言うと、日本語の「渡る」と中国語の“过”は異なる意味を持っているため、構文に対する選択性の違いが見られるのである。認知言語学の意味観によれば、言葉の意味は人間の頭の中に定着する抽象的な知識(概念)である。構文上における差異はこれらの抽象的な知識に制限され、現れるものだと主張したい。

7. 「手」と“手”の意味拡張に関する日中対照研究—認知言語学のアプローチから

李 旖旎 (北京郵電大学) 13811630321@163.com

要旨:

「手」と“手”は身体部位という概念だけでなく、そのもともとの意味から派生した種々の意味も表す。本発表では、「手」と“手”を研究対象にし、認知意味論の観点から、それぞれの意味拡張のパターンの分類及び意味拡張の方向性の異同に関して日中対照研究をする。「手」と“手”の意味拡張の各パターンに一定の共通性が見られ、すなわち、原義から【物体】【人間】【機能】への意味拡張が観察できるということである。しかし、「手」の原義は“手”より指示範囲が広く、「人体の上肢部」のほか、「動物の前足」という意味でも使用されている。一方、「手」と“手”は原義から【物体】へ意味が拡張される方向性は同じであるが、「手」の【類似した物体】への意味拡張の下位項目の数は“手”より多いことがわかる。また、隣接性に基づく「手」の〈勝負事などで手中にある札・駒〉という意味に対して、“手”は〈中医所称寸口〉へ拡張されたのである。なお、「手」と“手”は同じく原義から【人間】へ意味が拡張されるが、「手」の下位項目にある「一方面的部隊」は“手”には見られないのである。もう一つ、「手」と“手”は原義から【機能】への方向性が共通しているが、具体的な適用範囲の広さ、すなわち拡張された意味項目の数について見れば日本語の方が3つ多いことがわかる。つまり、「手」と“手”は原義から【物体】へ及び原義から【機能】への同じ意味拡張の方向性において、「手」は“手”より多くの意味へ拡張されてきたように思われる。また、「手」は名詞としてしか使われていないのと異なり、“手”は「助数詞」（例えば“几手交易”）と「動詞」（例えば“人手一册”）としても使用されている。換言すれば、“手”は品詞のカテゴリーにおいて「手」より広い範囲で役目を果たしているといえる。

8. テーマ: 並列関係にある語・句・節の接続—接続詞“和”の誤用分析を切り口に

張 恒悦 (大阪大学) zhanghengyue@hotmail.com

要旨:

並列を表す接続詞“和”は、使用頻度が高いため、多くの教科書で扱われ、教授されている。しかし、その多くは、単に日本語の対訳語は「と」である、とのことを単語リストで示すに留まっている。これは、“和”を「と」と考えれば、習得上何の問題もないという認識があるからであろう。

しかし、日本語母語話者が産出した中国語を観察してみると、“和”に関する誤用が決して少なくないことが分かる。例えば、

(1) *她的妈妈年轻和漂亮。

(2) *昨天我们去了神户, 和在三宫吃了午饭。

などである。

では、なぜ“和”に関する誤用が起こるのだろうか。

“和”は日本語で「と」と訳されるが、上記2例の日本語訳においては、いずれも「と」は用いられない。

(1a) *彼女のお母さんは若いときれいです。

→彼女のお母さんは若くてきれいです。

(2a) *昨日、私達は神戸に行って、と三宮で昼ご飯を食べました。

→昨日、私達は神戸に行って、三宮で昼ご飯を食べました。

よって、これらの誤用は日本語の「と」を“和”に置き換えたことによって生み出されたものとは言えない。

ところで、上記2例を英語に訳してみると、“和”は“and”と対応しているように思われる。

(1b) Her mother is young and beautiful.

(2b) Yesterday we went to Kobe, and had a lunch at Sannomiya.

このことから、“和”の誤用は“and”と深く関わっていることが窺える。

このように、“and”による“和”への干渉が起こっているのは次の二つの要因が考えられる。一つは、第二外国語の習得には母語だけではなく、第一外国語からの転移も起こりやすい傾向があるということである。そのため、第一外国語である英語は、中国語学習に影響を及ぼす可能性がある。もう一つは、複数の語・句・節を並列関係に仕立てるための接続方法に関する研究や教育が、ほとんどなされていないことも挙げられる。

こうした現状を疑問視し、本発表では、並列関係にある語・句・節の接続について分析を行う。“和”と日本語の「と」のみならず、“和”と英語の“and”との比較対照も行いつつ、以下の課題について考察していきたい。

1. “和” = 「と」は成り立つのか
2. “和”と“and”の相違点
3. 接続詞の選択条件
4. 並列表現成立の可否
5. 日本語・英語にみられない中国語の接続方法

9. テーマ：日中両言語における接続表現の対照研究—中国語の無標型接続表現とそれに対応する日本語を中心にして

白 睿（広島大学大学院） hakurui212@yahoo.co.jp

要旨：

文章は数多くのセンテンスが集まって成り立っている。センテンスの間には何かしらの意味関係がなければならぬ。接続表現はこのような意味関係を表す重要な手段である。これはどの言語においても共通する点であろう。日本語においても中国語においても接続表現を使い、文の間にある種の意味関係を表す。

(1) 抬 头 看 天, 发现 下 雨 了。

あげる 頭 見る 空 見つける 降る 雨 ASP

日本語訳文:空を見上げたら、あめだった。

(2) 汤 很 烫, 小 心 点 拿。

スープ とても 熱い 小さい ころろ ちょっと 持つ

日本語訳文:スープが熱いから、気をつけて持っていきなさい。

(3) 他 病 了, 不 去 上 课。

彼 病気 PFV NEG 行く 受ける 授業

日本語訳文:彼は病気になったので、授業に行かない。

以上の例文のように、中国語では、接続表現を使用せずに、前後節を繋げている。その一方、日本語では、「たら」「から」「ので」という接続助詞を使って、前後節を繋げている。日本語では文の間に接続詞、接続助詞を置くことで、節と節を一定の意味関係や論理関係のもとに結びつけて文章を展開して行くため、接続表現の使用が必須であるが、中国語は接続表現を使用する場合と使用しない場合のいずれのケースもある。

本稿では、日中対照研究の一環として、中国語の無標型の接続表現と日本語の接続表現を取り上げ、両言語の特徴について記述し、比較研究を行う。

10. テーマ：現代蒙古語中汉语词汇借用的特点

来 小子（関西大学大学院）mglxz1984@yahoo.co.jp

要旨：

現代蒙古語中汉语词汇很多。来自汉语的外来词为了适应蒙古语的语音系统和语法结构，发生了多方面的变化。本文从语音、语义、语法等三个方面对蒙古語中汉语词汇的借用特点做一些粗浅的研究。

一. 汉语外来词语音方面的特点。现代蒙古語中的汉语外来词主要是以音译方式借入的。但是，由于现代蒙古語和现代汉语在语音特点上有不同之处，所以现代蒙古語中的汉语外来词，是按照蒙古語的语音规则来被使用的。主要借用方法有以下几种：1. 直接借用——把汉语的读音无变化的挪到蒙古語当中。由于蒙古文字是表音文字，所以即便在书面語里也是照搬不变。在汉语外来词中，尤其在口语里这种借用方式最为常见，也最方便。由于蒙古語没有声调，所以汉语外来词通常都失去它原来的声调。2. 音变——汉语词汇原来的读音，由于受到各种各样的影响，其一部分音节或整个单词，或多或少地发生一些变化，按照蒙古語的发音规则来使用。

二. 汉语外来词语义方面的特点。语义演变主要表现在以下几个方面：1. 语义的扩大——词义所反映的事物的外延即逻辑概念所反映的事物的外延的扩大。2. 语义的缩小——其所反映的事物的外延即逻辑概念所指的事物的外延范围缩小。3. 语义的转移——一个外来词刚刚被某种语言借用的时候往往保持它原来的意思的，随着时间的推移，环境的变化，该语言的发展等原因，该词汇在词义的内涵上，逐渐从一个领域转移到另外一个新的领域。4. 反借——

被蒙古语借进来的汉语词汇，为了适应蒙古语的语言系统而发生一些变化，再融入到蒙古语当中。随着蒙汉两种语言不断地接触与交流的过程中，该词汇又以不同的身份被借入到汉语当中去，甚至换一种读音和意义，又一次被蒙古语借回来。

三. 汉语外来词语法方面的特点。蒙古语词汇分单纯词、合成词和短语。单纯词是由一个语素构成的词；合成词是由两个语素构成的词。蒙古语中的汉语外来词在原有的构词基础上，根据蒙古语的构词法进行构词上的改造。蒙古语是词尾变化比较丰富的语言，尤其是动词的词尾变化更为显著。所以，同一个汉语词根可以附加几个不同的蒙古语词缀，构成不同形式或不同意思的新词。1. 时态变化：表示过去时——汉语词汇+蒙古语词缀“hu”、“la/le”、“ba/be”、“zai/zei”、“cai/cei”、“gsan/gsen”来表示已经完成的动作……2. 词性变化：由汉语词汇的动词变为名词……3. 结构变化：蒙古语合成词，最典型的是并列合成词。汉语外来词被借入蒙古语中，有自己的语义，在蒙古语固有词中也有类似语义的相关词汇。在现代蒙古语中，汉语外来词和词义相对应或接近的蒙古语固有词汇重复并列合成一个新词的现象并不罕见。

11. テーマ：日中翻訳——談話言語学の視点から—『天声人語』（2018. 7. 11）の中国語訳について—

続三義（東洋大学）xu_sanyi@toyo.jp

要旨：

朝日新聞中文網の「天声人語」・「ジャンプ創刊50年」（2018. 7. 11）の中国語訳《〈少年 JUMP〉創刊50周年》（2018. 8. 5。以下「訳文」とする）の第4段と最終段落の中国語訳を、談話言語学の視点から分析し、日中翻訳について論じる。本文では、超文統一体の1つである「文組」という概念を取り入れ、文で構成される文組の文と文の意味関係を分析し、「訳文」の問題点を指摘し、そして翻訳案を示す。

ここでは、とりあえず「天声人語」原文の第4段の原文と「訳文」、そして続翻訳案を示しておくこととする。

原文

すぐに浮かぶのは「ドラゴンボール」の鳥山明氏や「キャプテン翼」の高橋陽一氏らか。筆者は昔、コンタロウ氏の野球ギャグ漫画「1・2のアッホ!!」が好きだった。「友情、努力、勝利」がジャンプのモットーだが、それを笑い飛ばすような作風が小気味よかった

「訳文」

首先想到的会是《龙珠》的鸟山明和《足球小将》的高桥阳一等人吧。笔者以前就很喜欢高階光幸的棒球搞笑漫画《1・2笨蛋!!》（日文为：1・2のアッホ!!）。虽然“友情、努力、胜利”是《少年 JUMP》的宗旨，但这种一笑而过的作品风格也令人心情痛快。

続翻訳案

首先我们可以想到《七龙珠》的鸟山明和《足球小将》的高桥阳一等人。笔者以前曾十分爱读高階光幸的棒球搞笑漫画《1、2 傻瓜!!》。《少年 JUMP》的宗旨为“友情、努力、胜利”，而《1、2 傻瓜!!》将此付诸一笑的画风令人颇有愉悦之感。